

徳島県への移住者アンケート結果について (2020年9月、徳島経済同友会)

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、テレワークが急速に普及し、オンラインでの会議や大学等での講義、セミナーなどへの理解が深まっていることに加え、生活スタイルの変化により、都市部から地方への移住に対する関心が高まっている。内閣府「第3回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(2021年6月4日公表)によると、東京23区在住者で関心があると回答した人(2021年4～5月期)は全年齢で38.1%であった。とりわけ20歳代の若者からの関心は高く、同48.2%にのぼる。また東京圏在住で地方移住に関心がある人のうち、直近半年以内に地方移住に向けた行動をとった人の割合では、20歳代で28.4%、30歳代で25.8%と全体の22.9%を上回る結果となった。

徳島県への移住については、2020年9月に徳島経済同友会が同会の会員企業等の従業員のうち移住者を対象とした「徳島県への移住者アンケート」を実施し、2021年2月に移住促進の提言を取りまとめた。同アンケートはサンプル数が少ないため(有効回答数31人)、結果の数値の統計的有意性は十分とは言えないものの、自由回答には移住者ならではの意見が述べられており、移住促進対策を講じる上で参考になる(同アンケート結果は別添のとおり)。

【移住者アンケート結果(実施機関：徳島経済同友会)の概要】

① 調査概要

調査方法：徳島経済同友会の会員企業に調査票を送付し、会員企業のうち移住者からオンラインまたはファックスで回答

調査期間：2020年9月1日～9月15日

調査対象先：徳島経済同友会会員企業等の従業員のうち移住者(転勤者は含まず、UIターン就職者は含む)

有効回答数：31人

② 調査結果の概要(自由記述部分)

- 家族(配偶者、親、子)やUターンを理由に移住に踏み切った回答者は、徳島県との地縁が移住のきっかけとなるケースが多い。また、移住に際して重視したこととして、大多数の回答者が仕事をあげている。ただし、希望する仕事に就けるか、または見つけれられるかが重要であり、必ずしも高収入を求めているわけではない(生活を維持できるレベルは必要)。くわえて、環境としては自然や教育、住まい等をあげる回答者も多い。
- 移住者が必要とする支援や取り組みは、第一に就労支援であり、「ニーズを満たす仕事」とのマッチングは不可欠である。さらに住宅支援、交通の便の改善(車購入の補助や公共交通機関の充実等)などへの言及が多くみられる。
- 移住者からみる徳島は、豊かな「自然」や阿波おどりをはじめとする「文化」、地場の「食」、「人」とのつながり(優しさ)などが魅力である。一方、それらの魅力を生かしきれない情報発信力の弱さや、交通手段などを改善すべき点だと指摘している。また、「遊ぶところがない」「施設が不足している」等の声もあることから、(休日などの)徳島の楽しみ方を提案することも効果的だと思われる。

(文責：佐々木志保)

1. 調査概要

調査名称 : 徳島県への移住者アンケート調査

調査方法 : 徳島経済同友会の会員企業に調査票を送付し、会員企業の従業員のうち移住者からオンラインまたはファックスで回答

調査期間 : 2020年9月1日～9月15日

調査対象先 : 徳島経済同友会会員企業等の従業員のうち移住者

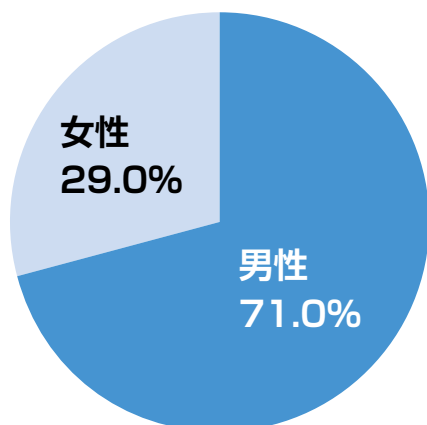
移住者は、居住地を徳島県外から徳島県内に移し、徳島で新たに就職した者。従って、転勤者は含まず、UIJ ターン就職者は含む。

有効回答数 : 31人

2. アンケート集計結果(基本属性)

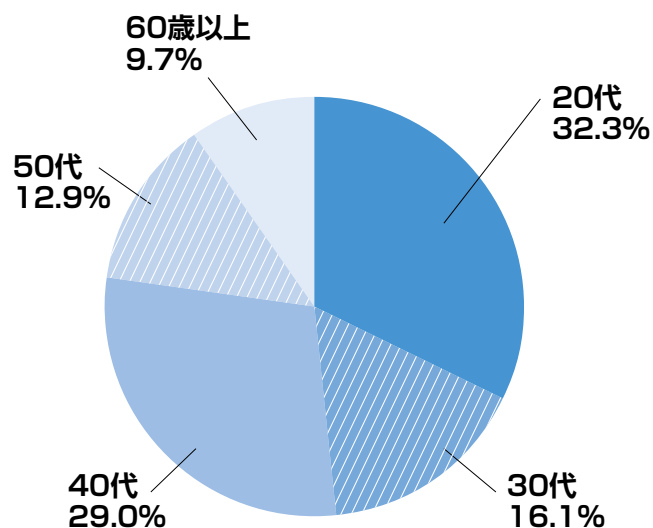
(1) 性別

- ・性別は、男性が約7割、女性が約3割。



(2) 年齢構成

- ・年齢構成は、「20代」が最も多く、次いで「40代」、「30代」となっており、30代までで半分弱、40代までで約8割を占めている。



(3) 出身地

・出身地は、徳島県：県外がおよそ4：6。県外では関西が最も多く、次いで関東と中国、その次が四国(徳島県を除く)の順となっている。

徳島県	41.9%	13人
うち徳島市	19.4%	6人
阿南市	9.7%	3人
県外	58.1%	18人
うち四国(徳島県以外)	9.7%	3人
関西	19.4%	6人
関東	12.9%	4人
中国	12.9%	4人
九州	3.2%	1人
合計	100.0%	31人

(4) 移住する前の住所

・移住する前の住所は、関西が4割弱、関東が約3割で、両者で全体の約7割を占めている。また、中国と四国(徳島県を除く)の合計でも3割弱を占めている。今回調査では北海道・東北・北陸・九州からの移住者はいなかった。

関西	38.7%	12人
うち大阪	22.6%	7人
兵庫	9.7%	3人
関東	29.0%	9人
うち東京	19.4%	6人
四国(徳島以外)	16.1%	5人
うち香川	9.7%	3人
愛媛	6.5%	2人
中国	12.9%	4人
中部	3.2%	1人
合計	100.0%	31人

(5) 現在の住所

・現在の住所は、徳島市が6割弱を占めている。板野郡(藍住町、北島町など)を加えると、全体の4分の3強が徳島市または板野郡に居住。

徳島市	58.1%	18人
板野郡	19.4%	6人
小松島市	6.5%	2人
阿南市	3.2%	1人
阿波市	3.2%	1人
吉野川市	3.2%	1人
石井町	3.2%	1人
佐那河内村	3.2%	1人
合計	100.0%	31人

アンケート集計結果(要旨)

(1) 徳島に移住した理由

- ・一番多かった理由が「ふるさと(出身地)で暮らしたいと思ったから」と「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいと思ったから」で、4割以上の移住者があげている。3番目が「やりたい仕事が見つかったから」。以下、「家族(配偶者、子ども、親)と一緒に暮らしたいから」と「それまでの働き方や暮らし方を変えたかったから」、次いで「配偶者の希望を尊重したから」が続いている。
- ・徳島に移住した理由をみると、地元に戻りたい、あるいは配偶者の意向等、徳島県との地縁がきっかけとなる例が多いが、同時に、自然豊かで生活環境がよいこと、都会の喧騒を離れたい、好きな仕事とじっくり向き合いたいなどの理由から移住を決めた移住者が多い。

(2) 移住に際して重視したこと

- ・大半の移住者が、仕事があることを重視している。ただし、必ずしも高収入を求めている訳ではない。「やりがいのある仕事」、「好きな仕事」、「これまで培ってきたスキルが活かせる仕事」が重要であると考えている。
- ・自由記述の結果も踏まえると、移住者は徳島への移住を決断する際、仕事があることを重視するが、「自然に囲まれていることも重視」しているほか、住環境や買い物・娯楽、医療・福祉、子育て環境などの生活環境が良好であることを重視していることが分かる。豊かな自然や都会の喧騒を離れたライフスタイル、良好な生活環境などがあれば、それとのバランスで「そこそこの生活が出来(る収入があ)れば問題なし」と考えている移住者が多い。

(3) 移住者増に必要な支援・有効な取組み

- ・大半の移住者が「就業・就労支援(働く場や機会の拡充)」をあげている。求人情報の充実、県内企業の情報発信、起業支援および企業の誘致が有効と回答している。
- ・同時に、住宅支援(住宅整備や空き家活用など)や買い物・娯楽、医療・福祉、子育て環境などの生活環境向上に関する支援・取組みが必要・有効であると指摘する移住者も多い。自由記述では、約4人に1人が交通についてコメントしており、交通の便の改善のほか、「公共交通機関の充実」や「公共交通、商業施設整備と合わせた居住エリアの再開発」などが有効であると回答している。
- ・また、引っ越し費用等の補助、移住者手当、お試し体験宿泊、2拠点生活に対応した施策などに期待する声も聞かれる。

(4) 徳島の好きな点、魅力(自由記述)

- ・ほとんどの移住者が、人のやさしさ、豊かな自然、食べ物のおいしさ、阿波おどりなどをあげている。また、アウトドアスポーツ環境や治安がよく、職場まで近く通勤時間が短いこともあって、穏やかにゆっくり時間が流れること、関西に近いことなどを評価する移住者も多い。

(5) 徳島の改善した方がいい点(自由記述)

- ・多くの移住者が、交通手段、阿波踊り頼みの観光、情報発信力の弱さ(PR下手)、活気のなさ、保守的、などを指摘している。

アンケート集計結果(項目別)

(1-1) 徳島に移住した理由(1番目、2番目、3番目に重視した項目)

・一番多くあげられるのが「ふるさと(出身地)で暮らしたいと思ったから」(41.9%)と「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいと思ったから」(41.9%)で、4割以上の移住者が理由としてあげている。3番目が「やりたい仕事が見つかったから」(30.0%)。以下、「家族(配偶者、子ども、親)と一緒に暮らしたいから」と「それまでの働き方や暮らし方を変えたかったから」(25.8%)、次いで「配偶者の希望を尊重したから」(22.6%)が続いている。

・「ふるさと(出身地)で暮らしたいと思ったから」、「配偶者の希望を尊重したから」、「親の介護をしなければならないから」の合計は71.0%に達しており、徳島県との地縁がきっかけで移住する例が多い。このことから、徳島県と地縁がある人をターゲットとした移住促進策は非常に効果があることが分かる。

・同時に、(1-2)「徳島に移住した理由(自由記述)」をみると、自然豊かで子育て環境がよいこと、都会の喧騒を離れられること、スローライフを送ってみたい、好きな仕事とじっくり向き合いたい、仕事が徳島にあったなどを理由にあげる移住者が多い。県外出身者であっても、仕事があり、気候や自然環境に恵まれ、都会の喧騒を離れ、それまでの働き方や暮らし方を変えることができるなどの利点や(4)にあるような徳島ならではの長所を情報発信できれば、移住者を更に増やすことができる可能性がある。

	回答割合 (%)			
	合計	1番目	2番目	3番目
ふるさと(出身地)で暮らしたいと思ったから	41.9	38.7	0.0	3.2
気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいと思ったから	41.9	12.9	6.5	22.6
やりたい仕事が見つかったから	32.3	12.9	9.7	9.7
家族(配偶者、子ども、親)と一緒に暮らしたいから	25.8	3.2	19.4	3.2
それまでの働き方や暮らし方を変えたかったから	25.8	3.2	9.7	12.9
配偶者の希望を尊重したから	22.6	16.1	3.2	3.2
新しい仕事をしたいから	16.1	3.2	9.7	3.2
豊かな自然に恵まれた良好な環境の中で子どもを育てたかったから	16.1	3.2	9.7	3.2
アウトドアスポーツなど趣味を楽しむ暮らしがしたかったから	16.1	0.0	3.2	12.9
都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたかったから	12.9	0.0	6.5	6.5
親の介護をしなければならないから	6.5	0.0	6.5	0.0
大都市より安くて広い土地や住宅が手に入るから	6.5	0.0	6.5	0.0
ふるさとではないが、以前住んだことがあってなじみがあるから	0.0	0.0	0.0	0.0
移住先の自治体を実施する移住・定住の支援施策に魅力を感じたから	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	35.5	6.5	9.7	19.4
合計		100.0	100.0	100.0

(1-2) 徳島に移住した理由(自由記述)

- やりがいのある仕事が徳島にあったため。
- 英語を使った仕事が徳島では見つからず、大学卒業後一旦香川で正社員として就職するが、徳島で英語を使った仕事と縁があり、家族の近くで働きたいと思ったので。
- 地元だったから、両親や家族が帰ってきたら?とってくれるから。
- 元々Uターンすることを決めていたため。大阪に住んでいましたが転職で徳島へ移住しました。地方都市への転勤も数回経験しておりますし、大阪からも車で2時間程度と近いので移住に特に不安はありませんでした。
- 都会でずっと生活したいと思わなかった。また、ふるさとである徳島に帰ると親や友人も多くいて、丁度よいタイミングで好きな仕事に徳島で就くことができたため。
- 大阪での生活にも疲れ、地元で地域貢献をしたい。また、家族とも暮らしたい、田舎で暮らしたいと思ったから。自然に囲まれたい。
- 家族とゆったり暮らせる点、学生時代を過ごした住み慣れた土地(県)である点、趣味など楽しめる環境がある点など、条件と移住タイミングがマッチしたから。
- 生まれ育った地元へ帰り、地元で働き、地元へ貢献したいと思ったから。
- 夫婦とも徳島県出身であり、配偶者が親の面倒を見たいとの希望があり、自分も将来的には徳島に帰ることを考えていたので。
- 自然が豊かで、海、山、川が30分程度でアクセスでき、子供を育てるのに良い環境だと思ったからです。
- 都会の喧騒から離れて暮らしたいと思い、祖母が住んでいる縁で徳島県に来た。
- 仕事の関係で三重と徳島が候補にあがったが徳島の自然の豊かさに魅力を感じた。
- 身内も都会ばかりで田舎に憧れていた。スローライフを送ってみたいかった。好きな仕事と向き合っ てじっくりしてみたかった。
- 専門学校在学中、様々な場所でのグランドスタッフの試験を受け、合格をくれたのが今の会社だったため。今の仕事ができるのであれば全国どこでも住むつもりではあった。
- たまたましたい仕事の会社の求人が徳島であり、運良く採用されたためです。
- 就職活動で内定をもらえた会社が徳島県にあったから。実家がある兵庫県に近いので、両親を安心させられるから。
- 親が高齢で一人になってしまい、親の面倒をみる必要があったため。
- 親が病気を患い近くにいた方が安心できるかという気持ちから。また一人っ子のため。
- 私自身が一人っ子であり、自身の親や親戚を支える若手が自分だけだったので、近くで暮らそう と思ったため。
- 家業継続のため。
- 配偶者と結婚を決めた時に持ち家があったから。自身は次男で家に残らなくても良かったので。
- 結婚を機に移住を決断。
- 結婚を決めて、どちらが仕事を転職して住まいを引っ越す必要があったから。
- 彼女が徳島県出身であったため、ついていく形で徳島県に移住しました。
- 会社の家賃補助期間の終了が来たためです。
- 1人暮らしをしてみたかったから。

(2-1) 移住に際して重視したこと

- ・6割超の移住者が「生活が維持できる仕事(収入)があること」を「1番重視」。「2番目に重視」、「3番目に重視」を含め、大半(77.4%)の移住者が、仕事があることを重視している。
- ・ただし、自由記述の項目((1-2)、(2-2))をみると、仕事(収入)は必要だが、必ずしも高収入は求めている。「やりがいのある仕事」、「好きな仕事」、「これまで培ってきたスキルが活かせる仕事」が重要であると考えている。
- ・仕事以外では、移住者の多くが「買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること」(64.5%)、「居住に必要な家屋や土地を安く入手できること」(41.9%)、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」(29.0%)および「子育てに必要な保育・教育施設・学校や環境が整っていること」(29.0%)を重視している。
- ・「(2-2)移住に際して重視したこと(自由記述)」の結果も踏まえると、移住者は徳島への移住を決断する際、仕事があることを重視するが、「自然に囲まれていることも重視」しているほか、住環境や買い物・娯楽、医療・福祉、子育て環境などの生活環境が良好であることを重視していることが分かる。豊かな自然や都会の喧騒を離れたライフスタイル、良好な生活環境などがあれば、そのバランスで「そこそこの生活が出来(る収入があ)れば問題なし」と考えている。

	回答割合 (%)			
	合計	1番目	2番目	3番目
生活が維持できる仕事(収入)があること	77.4	61.3	12.9	3.2
買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること	64.5	12.9	32.3	19.4
居住に必要な家屋や土地を安く入手できること	41.9	6.5	9.7	25.8
病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること	29.0	0.0	12.9	16.1
子育てに必要な保育・教育施設・学校や環境が整っていること	29.0	6.5	19.4	3.2
バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること	9.7	0.0	3.2	6.5
文化イベントや趣味の場などが充実していること	6.5	0.0	0.0	6.5
何年か行き来して知り合いができたこと	6.5	0.0	3.2	3.2
移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること	3.2	3.2	0.0	0.0
移住に関して色々なことを相談できる窓口やサポート体制が整っていること	0.0	0.0	0.0	0.0
本格的に移住する前に試しに移住体験ができるツアーや短期滞在制度があること	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	32.3	9.7	6.5	16.1
合計		100.0	100.0	100.0

(2-2) 移住に際して重視したこと(自由記述)

- 自分が納得できる仕事に移住先にあるかどうか。私の場合は地方新聞社で働くことが目的だったので、ほとんど仕事を理由に移住しました。
- 一番重視したのは、自分がこれまで培ってきたスキルが活かせる仕事ができるかどうかです。
- 生活が維持出来る仕事が見つかったことや、田舎ならではのコミュニティが出来た為。
- 仕事があって収入を得られる事と子供を育てるのに良い環境である事。
- 一人暮らしでできるほどの収入があること。福利厚生がそれなりに利用できること。
- 自分のこれまでの経験を活かして、現在の生活レベルをある程度維持出来る収入の仕事があること。
- 最低限の生活ができる仕事、職場までの距離、時間、働きやすい環境か。

- 実家に帰る予定だったので特になし。仕事も転勤できたのでよかったが職がなければ移住はしなかったと思う。
- 大都市で生活することに抵抗があり、地方都市であればどこでも構いません。生活するのであれば豊かな自然はある方がよいと思います。
- 自然に囲まれていることも重視した。
- 都会より田舎暮らしがしてみたかったから。
- 一日生活を営む上で、通勤や買い物に時間がかかるのは嫌だったので、ある程度の環境が整備された所に住みたかった。
- 生活する上で必要な環境、例えばお店、病院などが充実している事。
- 家の近くに日用品店やスーパーが近くにあり、家賃があまり高くないことを重視した。
- 収入と家賃・住宅取得費用です。金と家があればどんなところでもあんまり変わらないと思います。
- 生活する上での住環境が揃っているか。車が無しでも生活できるか。
- 正直なところ、今の仕事ができれば他にはこだわりがなかった。移住時、お金がなかったので住むところをしっかりと選ばなかったことは後悔した。
- 衣食住が最低限満足でき、都市部の圧迫感のある居住環境とは違う場所であることを重視。
- 住みやすさ。仕事もあり、そこそこの生活が出来れば問題なし。実家に帰るにもそこまで遠方ではなく車で可能だから。
- 転職による移住なので勤務先に近いところ(2km以内)を第一希望で探しました。
- 実家で暮らすことで家賃が浮く。また、車移動が自分では楽だと思っているから。
- 生活圏内に車さえあれば不自由さは感じなくなにより徳島に戻りたかったため。
- 家の周りの環境が整っているか(スーパーや駅が近くにあるかなど)を重視した。
- 仕事や社会インフラなどは、インターネットが発達してきているので、気になりませんでした。子供の教育に関しては、学校に通えるかなどは、重視しました。
- 子供が大きくなるにつれて、不便な生活にならないような環境、みなが安心して生活できること。
- 生活をスタートさせるために必要な資金の補助があれば心強い。

(3-1) 移住者増に必要な支援・有効な取組み

- ・大半の移住者が「就業・就労支援(働く場や機会の拡充)」(74.2%)をあげている。求人情報を充実させるほか、県内企業の情報発信、起業支援や企業の誘致を指摘する声も聞かれる。
- ・同時に、住まいや買い物・娯楽、医療・福祉、子育て環境などの生活環境や交通アクセスの向上に関する支援・取組みが必要・有効であると指摘する移住者も多い。具体的には、「住宅支援(住宅整備や空き家活用など)」(45.2%)、「子育て環境(教育・子どもの医療充実など)」(35.5%)、「地域の魅力アップや地域情報の発信」(32.3%)、「交通アクセスの向上」(29.0%)、「商業等の生活利便施設や機能の充実」(29.0%)が高い回答割合を占めている。

「(3-2)移住者増に必要な支援・有効な取組み(自由記述)」では、約4人に1人が車や公共交通について回答しており、交通の便の改善のほか、車なしで生活できるように「公共交通機関を充実させる」ことや「車を安く提供したり、運転免許取得費用の補助を行う」、「公共交通、商業施設整備と合わせた居住エリアの再開発」などが有効であるという声が聞かれる。

- ・また、「行政による移住に係る補助や移住後の支援・助成(税優遇を含む)」(29.0%)も多く、移住者が移住者増に必要な・有効であると回答している。具体的には、引っ越し費用等の補助、住宅支援(住居費補助)、移住者手当、お試し体験宿泊など。

	回答割合 (%)			
	合計	1番目	2番目	3番目
就業・就労支援(働く場や機会の拡充)	74.2	41.9	19.4	12.9
住宅支援(住宅整備や空き家活用など)	45.2	3.2	22.6	19.4
子育て環境(教育・子どもの医療充実など)	35.5	3.2	22.6	9.7
地域の魅力アップや地域情報の発信	32.3	19.4	6.5	6.5
交通アクセスの向上	29.0	16.1	3.2	9.7
商業等の生活利便施設や機能の充実	29.0	3.2	9.7	16.1
行政による移住に係る補助や移住後の支援・助成(税優遇含む)	29.0	9.7	9.7	9.7
体験・宿泊機会の充実	3.2	0.0	0.0	3.2
高齢者等の福祉の充実	3.2	0.0	3.2	0.0
医療の充実	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	19.4	3.2	3.2	12.9
合計		100.0	100.0	100.0

(3-2) 移住者増に必要な支援・有効な取組み(自由記述)

- 一番大切なのは仕事がある事。どんな仕事でもいいとは誰も思わない、良い環境、良い給料をみんな望んでいる。都会よりも選択肢が狭いのがネックである。
- 難しいとは思いますが、雇用の創出が確実に一番大事だと思います。
- 就労支援は生活する上で必要不可欠であり、それに加えて子育てがしやすい環境や商業施設の充実があれば増えていくと思います。
- 就業、就労支援とともに、起業の支援や企業誘致による機会の創出。
- 働く場所を増やしてほしい、移住者に対してのサービスを強化してほしい。
- 就労情報など、衣食住を最低限満足できるということと、目指したい生活様式も叶うという情報を発信するのも良いかと思う。
- 移住する前は、徳島県で盛んな産業や有名企業について深く知りませんでした。徳島に住んでもらうには、どんな仕事があるのかを伝えることが重要だと思います。四国で田舎な方の県だから、働き口がなくて生活が苦しそうと思われてしまいます。
- 私たち20代の課題といえば、一か月を赤字なしでしのぐことです。収入に合った住居や通勤手段を考えなくてはなりません。月給の金額の平均が他県より低いと感じても、少しでも支援してもらえたり、生活していける自信・確信があれば移住者は増えるのではないのでしょうか？例えば、家賃補助付き1万円など。他県に就職する人は、やりたい仕事で徳島県になかったり、月給が高かったり、大きな商業施設があるなどで就職を決めているように思う。また、都会であれば、車を持たなくても生活できる。
- 自分のように学生から就職でという場合、引っ越しや新居(探すことやお金の事)に時間もお金もかかり大変であったため、その点手伝ってもらえると動きやすい。車が必要と言われたことも移動するか悩んだ点であった。

- ある程度の居住エリアを決め、そのエリアの公共交通や商業施設などを整備するなど、エリアの再開発が必要と思います。
- 住宅を誘致し、入居後のアフターフォローまでしっかりとしたサポート。
- 移住などの人口を増やすには、引退された方の移住ではなく、これから子供を育てる世帯の移住が必要と考えます。そのためには、子育てが日本で一番しやすい土地などわかりやすくうたえば良いと思います。
- 都内に住んでいましたが、地方に移住したいと考えている人は多くいると思います。仕事が少ない事は置いて、車がないため移住ができない人もいるので車を安く提供したり、運転免許取得費用の補助を行うこと等も有効だと思います。
- 徳島県は車社会であるが車を持っていない人や買えない人も多いと思うので交通機関を発展させると良いと思う。
- 交通が充実している事が必要と思います。車での移動は楽ですが駐車場が高い。
- 車が無いと生活が難しく、そこに行けば全て揃う複合施設が乏しい。また、飲食店が少ない。
- 県外からの交通アクセスが車以外だと不便。県内での生活も自家用車がないと非常に不便。豊かな自然を観光資源にしているが、徳島市内から海や山まで移動するのに時間がかかりすぎる。車以外の手段が少ない。移動途中に立ち寄って楽しめる場所が少ない。
- 遊ぶところが無さすぎる。交通の便が悪すぎる。そこの2点を直さないと絶対に若者は県外に出て行く。いずれにしても、魅力がある施設を増やすべき。
- 大型ショッピングモールをもう少し増やすことが必要。百貨店がないということも、自慢できることではないと思う。
- 公営の温水プールがないのは不便。
- 現在の仕事に注目した移住者インタビューを公開するなどして、移住後のイメージを持ってもらうことが大切です。
- 徳島県の魅力を伝えること。移住した人の声を集めてどういうケースで移住したのかモデルケースを発信するとか？やはり娯楽施設は少なく街として盛り上がりや活気は移住前に比べ少ないように感じる。
- 阿波踊りやラフティングといった徳島県独自の魅力を SNS などでもっと発信すれば良いと思った。
- 都市部以外ではお試し体験宿泊などが出来ると良いと思います。高齢者にかかわらず医療の充実も不可欠だと思います。
- これまでの常識にとらわれた移住施策ではなく、新しい形に対応していくことが大切だと思います。私自身は、結婚しており主人は関西におります。このような2拠点生活の夫婦もおりますし、一つの職業で収入をまかなうのではなく、マルチインカムで働くやり方なら徳島でも収入維持が可能かと思います。これからの時代に合わせたやり方を柔軟にスピードをあげて対応していくことが大切だと思います。
- 学生の中には、奨学金を借りている人もたくさんいるようです。移住する際に、奨学金返済の補助があれば大変ありがたいのではないのでしょうか。
- 移住者手当的なものがあったとしても良いのでは無いか。田舎は不便と思われるのでそこを解決する手段が必要。
- 移住にかかる費用への支援があればもっと人が移り住んでくると思う。
- 新生活をスタートさせるために必要な資金の補助があれば心強い。

(4) 徳島の好きな点、魅力(自由記述)

・「徳島に暮らす人、海山川がある自然、そこから生まれる食、阿波おどりなどの文化」というコメントに代表されるように、ほとんどの移住者が人のやさしさ、豊かな自然、食べ物のおいしさ、阿波おどりなどをあげている。また、アウトドアスポーツ環境や、治安がよく、職場まで近く通勤時間が短いこともあって、穏やかにゆっくり時間が流れること、関西に近いことなどを評価する移住者も多い。

- 徳島に暮らす人、海山川がある自然、そこから生まれる食、阿波おどりなどの文化。
- おおらかできさく優しい人が多い、阿波踊り、海が近いので魚が美味しいし、海水浴も気軽に行ける。
- 人があたたかいこと。知人もおらず、右も左もわからない徳島にきて約7年居続けられたのは、会社の方や徳島で出会った方がとてもやさしくしてくださり、気にかけてくださったから。
- ひとの優しさや、人情味がある。自然が豊かである。地場の食べ物が美味しい。
- 半年前に移住してきてコロナであまり外出していませんが、職場の人はいい人です。
- 徳島にかかわらず地方の方々は優しいです。仕事もやり易く充実しています。
- 県南部は海が近く、自然豊かなところが気に入りました。田舎暮らしに憧れのある人は、移住後も楽しく過ごせると思います。
- 自然が豊かなところや都会のように人が多くないのであまり危険を感じたりしないところ。
- 自然が豊か。空気や食事が美味しい。人が暖かく親切で過ごしやすい。人間関係が良い。
- 自然豊かです。特に大きな川と海が素晴らしいと思います。そしてそこでとれる美味しい食べ物も魅力的であると思います。
- 自然に恵まれて、住みやすく、海山川でのアウトドアコンテンツが豊富。
- 自然と阿波おどりしかありません(若者は都心へ流れています)。
- 自然。サーフィンをするので立地はとても良いと思います。その分地震や津波リスクは感じますが。
- 自然が豊かで魚が美味しい。海にも近く山川海が一度に味わえる環境。
- 自然が身近にあり、何時も自然に触れることが出来る点。また、時間がゆったり流れ、落ち着く点。
- 自然が豊かで魚料理が美味しくて、都会のような喧騒した感じがなくて住みやすい環境である。
- 自然が豊かなところ、魚が美味しいところ、本州に行きやすいところ。
- 自然、阿波踊り。もっと山や川などを使ったアスレチックを作り、アピールしても良いかも。
- 自然が多く、アウトドア活動が気軽にできる。
- 三大河川である吉野川。ラフティング・県南サーフィンなどのアウトドアスポーツ環境。道の駅や産直市(あいさい広場)・徳島の滝(日本100選)・大川原高原・阿波の土柱・藍染・うず潮・かずら橋・おいしい食(鳴門金時・たらいうどん・鳴門鯛・びんびや・柚くいものや・たらいうどん山のせ・徳島新鮮なとく市の「阿波の幸 和美彩美」・NARUTOBASE・地ビール(神山ビール・スタヂビール)。阿波踊り・地元秋祭り。大塚国際美術館・まち☆あそび(秋)・うちのうみ公園・月見ヶ丘公園・神山キャンプ・まぜの丘。他にもありますが、これらはとても魅力的です。
- 身近に自然がある(田園風景、レンコン畑、山、海)。
- のんびり暮らせるところ。魚がおいしい。山も海もあり自然な体験が県内でも十分楽しめる。
- 食材が美味しいです。地元の野菜やお魚、お肉で賄うことができるので、外国産かな?と調べたりせずに安心して食べることができます。
- 食べ物が新鮮でおいしく、値段が安い、この事は他府県に誇れると思います。

- おいしい食材が安い(果物、魚など)。
- すだち、祖谷、阿波尾鶏、阿波晩茶、阿波踊り、のんびりとした環境
- 阿波踊り
- 初めて見た阿波踊りは最高でした。あんなに優雅で迫力ある踊りは滅多にありません。地元の方に聞くと「阿波踊りは見飽きた」などと言いますが、移住者からするとすごく魅力的です。
- 阿波踊りの期間中は全国から人が集まり賑わいがあります。そこに地元から見に行くことができるのは大変便利で嬉しい。
- 穏やかに時間が過ぎるところ。魚が美味しいところ。親が近く頼りやすいところ。
- 人が少なくゆったりしている。
- 職場と住居が近い(通勤時間短縮)。
- スポーツ環境に恵まれている(時間・料金)。
- 子どもの教育環境が良い。
- 板野町は子育てもしやすく住みやすい。
ゆめタウンがあるので、ある程度の買い物は困らない。
- 大阪・神戸にも車で行ける立地。買い物も充実している。

(5) 徳島の改善した方がいい点(自由記述)

- ・多くの移住者が、交通手段、阿波踊り頼みの観光、情報発信力の弱さ(PR 下手)、活気のなさ、保守的、などを指摘している。
- 車以外の交通手段が弱い。バス・汽車の本数があまりにも少なすぎる。
- 交通の便が悪いこと。これが活気の乏しさに繋がっているのではないかと思います。
- 車がないと生活できない点(電車がなし、バスの本数が少ない)。徳島での就職が決まった際に、車を準備するように言われ学生だった自分は諦めるべきかと悩んだ。
- 公共交通機関が非常に不便(県内移動、県外移動)。飛行機の便数が少なく、行ける目的地も限られている。
- これとってあるわけではありませんが、交通事情がよくないことと、生活する上で家賃の相場が高いような気がしています。
- 交通手段。阿波踊り頼みな観光産業。物価がそこそこ高い。保守的である。娯楽がない。
- 交通渋滞が多いため意外と通勤に時間がかかる。渋滞の発生しない交通整備。
- 車の運転マナーの向上。県外から来た人はみんな交通マナーの悪さに困っている。
- 徳島といえば阿波踊りしかないと思われている。もっと魅力的な徳島をPRしたらいかがでしょうか。
- 阿波踊りのインパクトが強すぎるせいか、それ以外にここに来たい、ここに行きたいなどの魅力が欠けていると思われている。なにもないと思われている。
- 県民の人が徳島の良い所を知らず、魅力を発見できていない。県外の人にアピールできない。
- 八十八ヶ所、祖谷など、徳島のいいところのPRをもっと上手くできればいいと思う。
- 同じ四国でも高知のひろめ市場のように、徳島も食べ物がおいしいのだから県外の人が集まりやすい拠点となる場所をつくるべき。
- 観光素材のアピールが下手。関西圏から最も近く良いところがまだまだ沢山あるが活かしきれていない。それらを磨き上げ四国で一番観光客が訪れる県になって欲しい。

- PRを改善された方が良くと思います。全国で徳島のニュースになる時は半数以上がネガティブなニュースなので、良いニュースを流せるような取り組みをしたいと思います。
- せっかくいいところなのに県民自身がたいしたことないと思っているところ。
- 地元(愛媛)の友人に遊びにおいでと誘ってみるものにもないからと言われてしまう。見てみたい！行ってみたい！と思わせることができていない。都会の方からすれば、何もないことが良いように思われるかもしれないが、同じ地方からだ魅力がない。
- 活気がないところ、商店街なども閉店が相次ぎ人がいない。
- 映画館が少ない。大型商業施設のようなものをもっと増えれば良いと思う。
- 活気がない。自然を推すほかにも施設を作るべき。
- 駅前、商店街に活気がない。もっと大きなショッピングモール、ホームセンターがあればよい。
- 駅前や駅周辺がさびれている(商店街)。県外から来た人が見るところがすたれている。地下の駅バルはとても良いと思う。駅前の駐車場が狭い。少ない。高い。
- 駅前の活性化。雨が降っても傘が要らない駅前に！(駅舎から高速バス乗り場、アミコビル、名店街の移動に)。駅裏側 JR 車両置場の合理化。県・市・JR でコラボする。
- 今までのキャリアを活かした仕事ができるよう斡旋できる場があれば移住しやすい。周囲の人間も徳島に魅力的な仕事がなく外に出たケースが多い。徳島にいる場合は徳島にいることが第一前提でそこから仕事を探すようになる。家賃などは都市部と比べ安いはずだが仕事がないと暮らすのは難しい。併せて仕事だけにならないよう娯楽施設も必要。自然の娯楽が好きであれば魅力的に映ると思う。そういう層以外も取り込むのであれば商業施設や阿波踊り以外の新しいイベントやスポットも必要に思う。
- 徳島に一度来てもらうためのイベントやツアーが重要。いくら住み心地の良い土地と環境があっても、実際に見てもらわなければ意味がありません。都会の方を対象とした移住体験ツアーをもっと増やしましょう。
- 移住後のサポートも大切です。徳島では閉鎖的な考え方をする住民がいるのも事実。そこで、移住者だけを集めた交流会を開くなどして、生活の悩みや余暇活動を共有できる友達づくりを行政やボランティア団体が支援すべきです。私も移住当初は友人が誰もおらず、しばらく寂しい時間を過ごしました。
- 人気のない県(魅力度ランキングでブービー)脱却のため、官公庁はもとより、民間についても改善が必要。
- 人口、企業が少ない為か、特にサービス業(飲食、接客、店舗)のサービスレベルが他府県に比べ、低いと感じます。
- 四国八十八ヶ所を回る人たちへのねぎらいや、労りが足りず、商売っぽくなっているところ(ルーティン化・無機質)。
- 保守的で新しい物や考えを取り入れる積極性に欠ける。街全体に活気がない。
- 閉鎖的な人が多く人間味が感じられない。車社会なのに道路がなかなかできない。一体感がなく盛り上がり欠ける。
- 各市町村が個別にアピールしており、県として纏まってアピールしていない印象。

その他意見等(自由記述)

- 移動手段がもっと充実し、県内のどこに何があって、どの辺りに住むといいかなどの情報をうまく発信できれば、私のように移住する人も、もっと増えるのではないのでしょうか。
- 私のように岡山や兵庫に住んでいた人が、徳島に移住してくれる可能性があります。
- 移住してきたときは、1年と住まないだろうと思っていましたが、仕事も充実し、たくさんの人に助けられ、気がつけば7年住んでいます。
- 縁があって徳島に住んでいる、永住するかどうか、分からないが、良いところだと思います。
- 四国に興味がある人を全国から見つけ出しましょう。
- 徳島県の各自治体が、定期的に移住相談会を大阪や東京で開いていますが、近畿や中国地方でも相談会を積極的に開いてみてはいかがでしょうか。
- 徳島在住の人と他県の在住の人で婚活パーティーを徳島県で開催するとか楽しそうだなあと思いました。
- 阿波踊りは重要な文化かと思いますが、観光という観点で考えたら、阿波踊りに依存しすぎるのではなく、自然などもっと都会の方にアピールできるものはたくさんあるので、海山川を活かしたアクティビティを整える施策を打ち出しても良いと思います。例えば、登山道の整備、釣り場所の整備など。
- 徳島の魅力をどんどん発信しましょう。応援しています。
- 個人の意見ですが、駅前に大きな阿波おどり像や、徳島城再現など、観光客目線でのインパクトが必要であると思います。
- 東京の人ということで何度も差別されてきました。県外人を快く受け入れるという広い心、寛容な心を全員が持ってほしいと思います。1人でもそのような人がいると、県全体のイメージが悪くなります。
- 若者が少なく全体的に活気がないように感じる。最近ではコロナの影響で特に活気が無く寂しく感じる。